

平成27年度

全国学力・学習状況調査の  
結果について



海西中イメージキャラクター「カイチュウ」  
平成26年度 全校生徒からの公募と投票で決まりました。

海老名市立海西中学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「数学に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 4
「生徒質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 5
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 6
(資料) 学習・生活習慣と学力との関係	P. 7



# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが、平成25年度から再び全国すべての小中学校が対象となりました。

なお、今年度実施された「理科」については、3年に一度実施されるものです。

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

## ◆ 調査内容

### (1) 教科に関する調査

#### 【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

#### 【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

### (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

### (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成27年4月21日(火)



## 国語に関する調査結果

### 国語 A

(主として「知識」に関する問題)

#### 《優れている所》

- 「書く」能力に優れています。特に設問4の一で問われた、伝えたい事実を明確に書く力に優れています。設問7の一で問われた、伝えたい事柄が明確になるよう文章の構成を考える力にも優れています。
- 「話す・聞く」能力に優れています。特に設問1の二で問われた、聞き手を意識して、分かりやすい語句を選んで話す力に優れています。また設問8の二で問われた、必要に応じて質問しながら聞き取る力にも優れています。

#### 《努力を要する所》

- 「言語についての知識・理解・技能」に努力を要します。特に設問9の六で問われた、手紙の書き方を理解して書く力に課題が見られます。問三の語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う力にも課題が見られます。

### 国語 B

(主として「活用」に関する問題)

#### 《優れている所》

- 「読む」能力に優れています。特に設問3の二で問われた、表現の工夫について自分の考えをもつ力に優れています。また設問2の一で問われた、目的に応じて文章を要約する力にも優れています。
- 「話す・聞く」能力に優れています。特に設問1の二で問われた、効果的な資料を作成し、それを活用して話す力に優れています。また、一で問われた、状況に合わせて資料を活用して話す力にも優れています。

#### 《努力を要する所》

- 「書く」能力に努力を要します。特に設問1の三で問われた、資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書く力に課題が見られました。誤答の多くは、資料の内容と結びつけて書く条件に関するものでした。

### 今後の具体的な取組

- 手紙の基本的な形式に込められた意味、特に相手への敬意について考えさせ、依頼状や礼状などを実際に書くなどの学習活動を計画的に取り入れていきます。また、ことわざなど、日常生活で使うことの少ない語句について、実際場面を取り上げて意味を確認したり、短文を作ったりするなどの学習も強化していきます。
- 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを書く学習において、特に根拠を明確にすることを意識させ取り組んでいきます。

# 数学に関する調査結果

## 数学 A

(主として「知識」に関する問題)

### 《優れている所》

- 「数と式」領域の「技能」「知識・理解」ともに優れています。特に設問2の(4)のように、文字を用いた式で数量の関係が説明できることをよく理解しています。また、(3)で問われた、等式を目的に応じて変形する技能にも優れています。
- 「図形」領域における「知識・理解」に優れています。特に設問7(3)で問われた、作図の根拠となる平行四辺形の条件をよく理解しています。設問6の(2)で問われた、多角形の内角の和の性質もよく理解しています。

### 《努力を要する所》

- 「関数」領域の「知識・理解」に努力を要します。特に設問13で問われた二元一次方程式の解の集合が直線で表されること、設問9で問われた関数の意味を理解することに課題が見られます。

## 数学 B

(主として「活用」に関する問題)

### 《優れている所》

- 「数と式」領域の「数学的な見方・考え方」に優れています。特に、設問2の(2)で問われた、数量の関係について、ある事柄が成り立つ理由を、筋道を立てて説明する力に優れています。
- 「図形」領域における「数学的な見方・考え方」に優れています。特に設問4(1)・(2)で問われた、ひとつの図形の証明を振り返って、新たな性質を見出す力、さらに発展的に考えて、条件を変えた場合にも、他の知識を活用して証明できることを論理的に考え、それを表現する力にも優れています。

### 《努力を要する所》

- 「資料の活用」領域における、「数学的な見方・考え方」に努力を要します。特に設問5の(2)で問われた、資料の傾向を的確に捉えて、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する力に課題が見られます。誤答の多くは、資料の読み取りや根拠の誤りによるものです。

## 今後の具体的な取組

- 関数の理解については、身近な生活に題材を設定し、実感を伴って理解が深まるよう指導を工夫していきます。
- 資料の傾向を捉える場面を多く設定し、グラフにおいては、最大値最小値、中央値、最頻値、平均値への着目など、確かな根拠をもとに多角的に考察する力をつけていきます。グループで話し合う場面も、より多く効果的に設定していきます。

## 理科に関する調査結果

### 《優れている所》

第一分野においては、物理的領域に優れています。第二分野においては生物的領域に優れています。

能力としては、科学的な思考・表現、自然現象に関する知識・理解に優れています。

- 物理的分野では、特に、設問5の(1)で問われた、「オームの法則」を使って、抵抗の値を求める力をはじめ、知識・理解に優れています。
- 生物的分野でも、特に設問8の(1)で問われた背骨のある動物をセキツイ動物と表すことをはじめ、知識・理解に優れています。また、設問8の(3)で問われた、他者の考察を検討して改善し、解決すべき課題に対して適切な考察を記述する力にも優れています。さらに、設問7の(3)で問われた、実験によって見いだした問題をもとに、適切な課題を設定する力にも優れています。

### 《努力を要する所》

第一分野においては化学的領域に、第二分野においては地学的領域に、さらに努力ができるとういです。

能力としては、実験・観察の技能に関して、さらに努力ができるとういでしょう。

- 化学的領域の、特に設問1の(6)で問われた、熱による分解の知識を活用して、他者の考えを検討して改善し、混合物を加熱したときの化学変化を説明する力に課題が見られました。誤答で最も多かったのは、熱による分解が起こって質量が減少したことをグラフから捉えるものでした。次いで多かったのは、物質A単独よりも物質A・Bの混合物のほうが減少した質量が多いことから、共通する物質Aの熱による分解以外に化学変化が起きているのを捉えることに関するものでした。
- 地学的領域では、特に設問2の(2)で問われた、天気記号から風向を読み取り、風向計を使って風向を観測する知識・技能に課題が見られました。誤答の大半は、風向計の原理や仕組みを理解し、観測する技能を身につけることに関するものでした。

### 今後の具体的な取組

- 化学的領域では、実験を行う際に、グループで各自の考えを説明する時間を確保したり、共通するシートなどにまとめて考えを共有したり、考察を検討し改善する場面を多く設定していきます。
- 地学的領域では、観測器具を自作する場面も設け、器具の原理や仕組みを体験的に理解し、主体的な観測意欲も涵養していきます。



## 生徒質問紙の結果より

※ 数値の単位は%、( )内は全国平均  
※「肯定的な回答」は「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」の計

### 学習について

#### 《よかった所》

○学習習慣の定着が高いです。平日の授業以外の学習時間が1日1時間以上確保している割合が79.8(69.0)でプラス10.8となっています。「家で宿題をしているか」に肯定的な回答が93.1(89.3)で、「全くしていない」は0でした。

#### 《課題と思われる所》

- 「授業のはじめに目標が示されていたか」の質問に「当てはまる」が17.7(41.9)、「どちらかと言えば当てはまる」44.8(37.8)、計62.5(79.7)でマイナス17.2となっています。
- 「問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いているか」に「当てはまる」が20.7(45.8)「どちらかと言えば当てはまる」が28.1(34.8)、合計48.8(80.6)でマイナス31.8となっています。

### 生活について

#### 《よかった所》

○規範意識が高いです。特に「学校の規則を守っていますか」の質問に「当てはまる」63.1(58.8)、「どちらかと言えば当てはまる」が32.5(35.6)、計95.6(94.4)でプラス1.2となっています。「いじめはいけない」についても肯定的な回答が96.1(93.7)でプラス2.4でした。

#### 《課題と思われる所》

- 自尊心に課題が見られます。「自分にはよいところがあるか」の質問に「当てはまる」が21.7(26.2)「どちらかと言えば当てはまる」が42.4(41.9)、計64.1(68.1)でマイナス4.0となっています。「夢や目標があるか」には「当てはまる」が38.9(46.0)、「どちらかと言えば当てはまる」が19.2(25.7)、計58.1(71.7)でマイナス13.6となっています。

### 重点目標「優しさを鍛える」について

「人の気持ちの分かる人になりたいか」の質問に肯定的な回答が97.0(94.9)で、プラス2.1となっています。また、「人の役に立つ人になりたいか」の質問に肯定的な回答が96.1(93.7)で、プラス2.4となっています。

### 今後の具体的な取組

- 授業におけるその時間の目標やねらいが一層明確に意識できるよう導入を工夫するとともに、終末には目標に即した振り返りの場面を確保します。
- 授業で使用するワークシートは、穴埋め式に偏らず、自分の考えなどを主体的にメモできる形式を工夫し、それを有効に活用する指導を充実します。
- 道徳や学級活動等、夢に向かって努力するモデルや価値を共有し深め合いながら、自らの夢や目標を友達と語り合い認め合う場面を設けていきます。

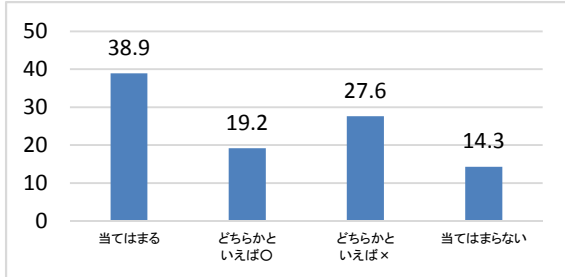
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

## 1 ご家庭でも夢や目標について語り合しましょう。

臆することなく将来の夢や目標が語れて、認め、励まし合う雰囲気を大切にしましょう。

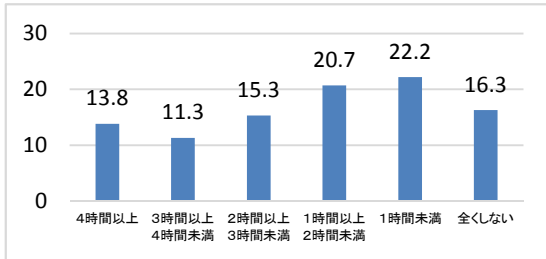
### 将来の夢や目標を持っていますか



## 2 ゲームは時間のルールを決めましょう。

過度の使用は睡眠不足の原因にもなります。家族でも時間の目安を持って過ごしましょう。

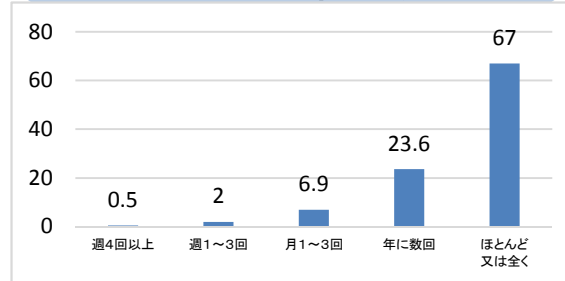
### 普段1日どれくらいの時間ゲームをしますか



## 3 読書の機会を広げましょう。

読書が好きな生徒は多いです。地域の図書館も新しくなります。ぜひ利用してみましょう。

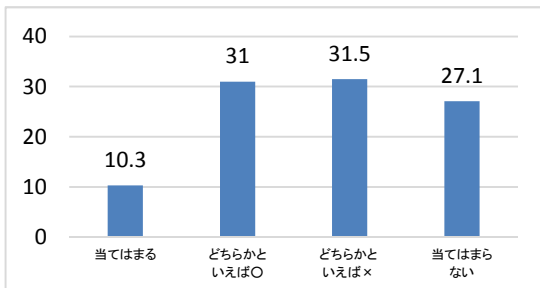
### 昼休みや放課後、休日に図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか



## 4 地域の絆を強くしましょう。

非常時に助け合うためにも、普段から地域の人とのつながりを大切にしましょう。

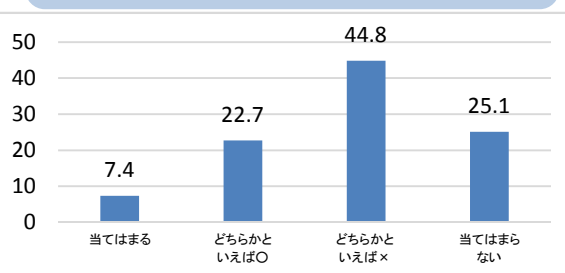
### 地域の行事に参加していますか



## 5 地域や社会に関心を持ちましょう。

地域や社会の問題や出来事について家族で話し、自分なりの考えを持つようにしましょう。

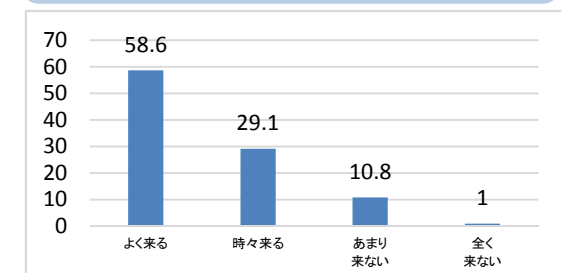
### 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか



## 6 多くのご来校に感謝しております。

お子様の励みになります。学校の様子が分かり、ご家庭での話題も増えます。

### 家の人は授業参観や学校行事に来ますか





文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

### 児童・生徒の学習・生活習慣と学力との関係

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

#### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数、理科に対する関心・意欲・態度が高い

#### 【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

#### 【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

#### 【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

#### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて勉強をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

#### 【家庭でのコミュニケーション】

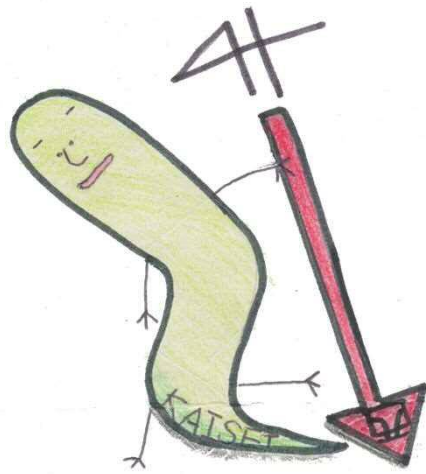
- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の方は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

#### 【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

#### 【メディアとの関係】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い



海西中イメージキャラクター  
次選 「タブー」

平成27年11月